

国連安保理が対リビア決議を採択

国連安全保障理事会は、2011年3月17日、リビアのカダフィ政権から同国市民を守るため、あらゆる必要な措置を加盟国に認める決議案を賛成10カ国、棄権5カ国で採択した。同決議は、カダフィ政権による反政府勢力への空爆を阻止するため、リビア上空での人道目的を除く全飛行を禁止した。

本決議に関する主要国要人の発言は以下の通り。

月 日	要 人 名	発 言 ・ 報 道 内 容 等
3月16日	ライス米・国連大使	★米国の見解は、恐らく、飛行禁止空域の設定以上の措置についての検討の準備が必要だということだ（記者団に）。
	クリントン・米務長官	★①西側諸国には反体制派に決定的な軍事支援を行う以外に選択肢はない。 ②我々は独裁者に立ち向かう反体制派を支援したい。 ③カダフィ大佐には良心のかけらもなく邪魔する者は誰であり脅すであろう。 ④カダフィ大佐は自国や周辺国に恐ろしいことをするだろう。 ⑤それは同人の性格によるものだ。そうした人物はいるものだ。 ⑥飛行禁止空域の設定は、航空機や飛行士を守るためにリビアの防衛システム等の標的への爆撃を含む一定の行動が必要となる。
	ラスムセン・NATO事務総長	★①NATOはリビアへの干渉は望まないが、行動が必要な事態に備えておかねばならないので必要とされるあらゆる軍事計画を立案するよう要請した。 ②必要とあらば、支援する準備は出来ている。

17日	フイヨン・仏首相	★決議が採択されれば、即時の軍事行動を望む（国連安保理決議の採択に先立ち、仏テレビで）。
	ジョペ・仏外相	★我々はアラブ諸国も含めて、共に行動する準備ができている。時間はほとんど残されていない。（出席した安保理会合での発言）。
	ライス米・国連大使	★本日の決議は、地上で直ちに求められていることに対する力強い答えだ。
	マーク・リオール・グラン ト卿・英国連大使	★①国際社会がカダフィ政権に対する行動を起こす上で一つになった。 ②国際社会はカダフィ政権に国民への暴力の停止を求めている。 ③英国は自国に課せられた責任を背負う用意がある。
	ヘイグ・英外相	★①国連に対する責任として、英国は対応しなければならない。 ②決議はリビア上空の飛行禁止区域の設定及び、 <u>ベンガジの反体制派を含む民間人を守るあらゆる必要な手段を承認している。</u> ③決議は、リビア市民を守る手段を求めたアラブ連盟の要請への前向きな答えであり、仏・英・レバノン・米による過去数日のハードワークの賜物である。 ④さらなる流血を防ぐために、こうした手段が必要である。
	英政府高官	★①英国はリビアへの空爆に踏み切る準備を開始した。 ②英軍と仏軍の共同作戦となる可能性がある。（BBCテレビの報道）。
	—	★ロイター通信は、イタリアが（攻撃に）必要な基地を提供すると表明と報じた。（注：1）
仏外交筋	★軍事行動は数時間以内に開始され、仏	

		と英に加え、恐らく米国とアラブの 1カ国が参加する。
	米軍当局者	★米国が直ちに軍事行動に加わることはない。
	米政府高官	★①オバマ政権内では、最早、飛行禁止空域の設定だけでは事態を大きく変えられないので、カダフィ派の戦車や重火器類を標的とするより積極的な空爆が必要とのコンセンサスが出来つつあった。 ②米国と同盟国は、反体制派を支援するために、軍人を派遣し助言を与えると共に訓練を行うかもしれない。
	ウェスターウェレ・独外相	★カダフィ氏に攻撃をやめるよう強く要求するものの、ドイツは軍事干渉には反対であり、軍の派遣も行わない（声明で）。
	匿名希望の外交官	★①リビア攻撃には、特にカタールとUAEが参加するだろう。 ②そのことは国連安保理で確認されている。
	ヤヒヤ・マフマサーニ・アラブ連盟・国連大使	★①カタールとUAEはリビア攻撃に参加するかもしれない。 ②但し、自分はそのことを確認はできない。

出所：共同通信、時事通信、ロイター通信、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、NYT 紙、アラブ・ニュース紙 2011 年 3 月 18 日電子版より抜粋のもの。

(注：1) シチリア島（イタリア）のシゴネラ空軍基地が後方拠点の候補に上がっている模様。

国連安保理の新決議の前日の 2011 年 3 月 17 日、カダフィ大佐は決議の採択を牽制して次のような声明を発表している。

- ① 外国軍による如何なる軍事行動は、地中海の空と海の交通を危険にさらし、民間及び軍事施設がリビアの反撃の標的となるだろう。
- ② 地中海域は、短期的のみならず、長期的に危険となるだろう。



出所 : BBC News—Libya in maps